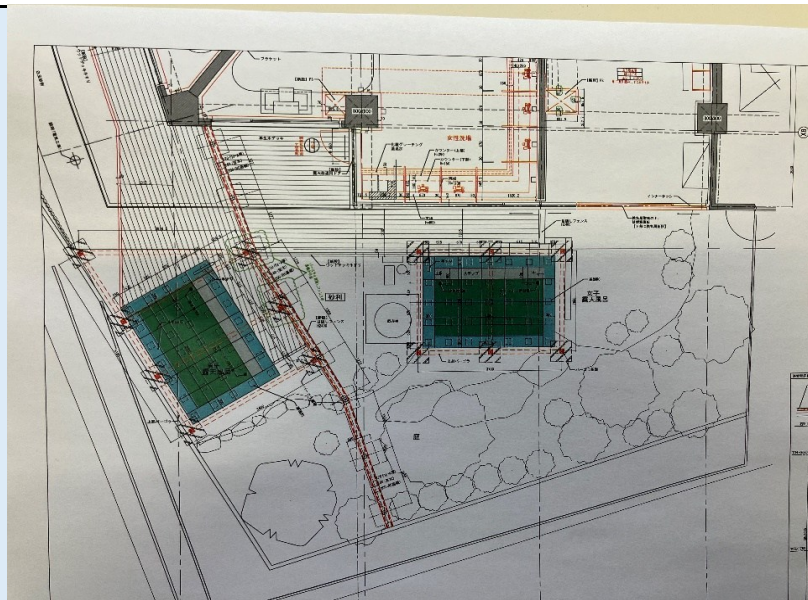


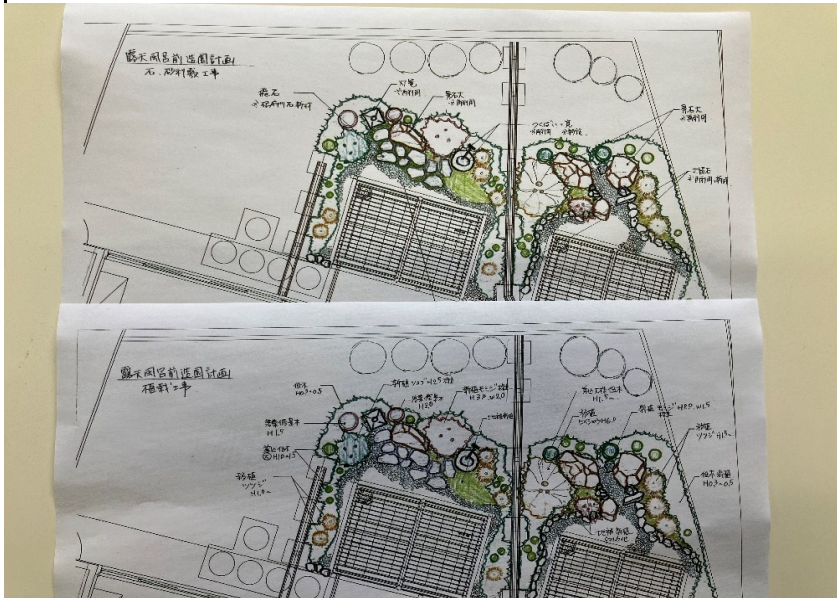


写真1（落葉樹を主体とした造園計画。圧迫感を与えない）



圧迫感を無くすため、竹塀・風呂の配置を変更提案した。

写真2（当初図面。造園計画も無い。）



露天風呂周りは温泉成分による植物の影響を考慮し石敷とした

写真3（移植木、発生資材を利用した造園計画提案下書き図）



写真4（殺風景なプラ竹の目隠し塀に樹木の影を照明演出）

創意工夫
アイデア
の題名

限られた敷地を最大限に利用した癒し空間の創出

2025年度 全国1級造園施工管理技士の会（一造会）
すてきな造園空間をつくった創意工夫・アイデアコンクール

No.

15

応募者1

（現場代理人）

応募者2

（ ）

その他
応募者

取り組み時期

2024 年 10 月 ～
2024 年 12 月

現場の
所在地

神奈川県
足柄下郡

撮影日

2024 年 12 月

アピール
ポイント

当工事は限られた敷地に男女露天風呂を設置する計画で、当初より開業日が確定され十分な工事期間が確保されない中、工期短縮の検討が課題でした。その地にあった資材や樹木を最大限利用することで資材調達時間の削減と【癒し空間の創出】をテーマに外構設計計画から参画いたしました。綿密な作業計画を立案・実行した結果、外構・造園工事共満足する作品が完成しました。

部門

- ☒ 造園工事
- ☐ 植物管理
- ☐ 公園等の管理運営
- ☐ 業務改善・効率化



現地発生石(再利用)
写真2 (コケを損傷させないように楊重)



着工前写真
写真1 (既存樹木掘り取り状況)



写真4 (圃場にて仮植状況)



当初は伐採対象でした。
写真3 (既存樹木掘り取り状況)

補助
説明文

敷地内には、樹木や石、灯籠など再利用できそうな資材が多く残置されていました。コスト削減、工期短縮を検討する上で、これらの資材を有効利用し、資材の大きさやバランスを事前にイメージしながら提案を致しました。限られた敷地空間の中で、宿泊者が心地よく入湯できる空間を提供することを重要ととらえ、圧迫感を与えず、地域環境に合わせた資材(樹木・石材・砂利等)を採用しました。

取り組み 時期	### 年 10 月 ~ ### 年 12 月
撮影日	### 年 11 月